

2017年度決算

(平成29年12月期)

および

中期経営計画説明資料

NICHIRIN Growth Strategy 2020

(フェーズⅡ：2018年～2020年)

2018年2月14日

株式会社ニチリン

(証券コード5184)

目次

- I. 当社の概要
- II. 2017年度（平成29年12月期）決算
- III. 中期経営計画の骨子
- IV. 中期経営計画フェーズⅠ：活動成果
- V. 中期経営計画フェーズⅡ：経営目標
- VI. 中期経営計画フェーズⅡ：重点施策

I . 当社の概要

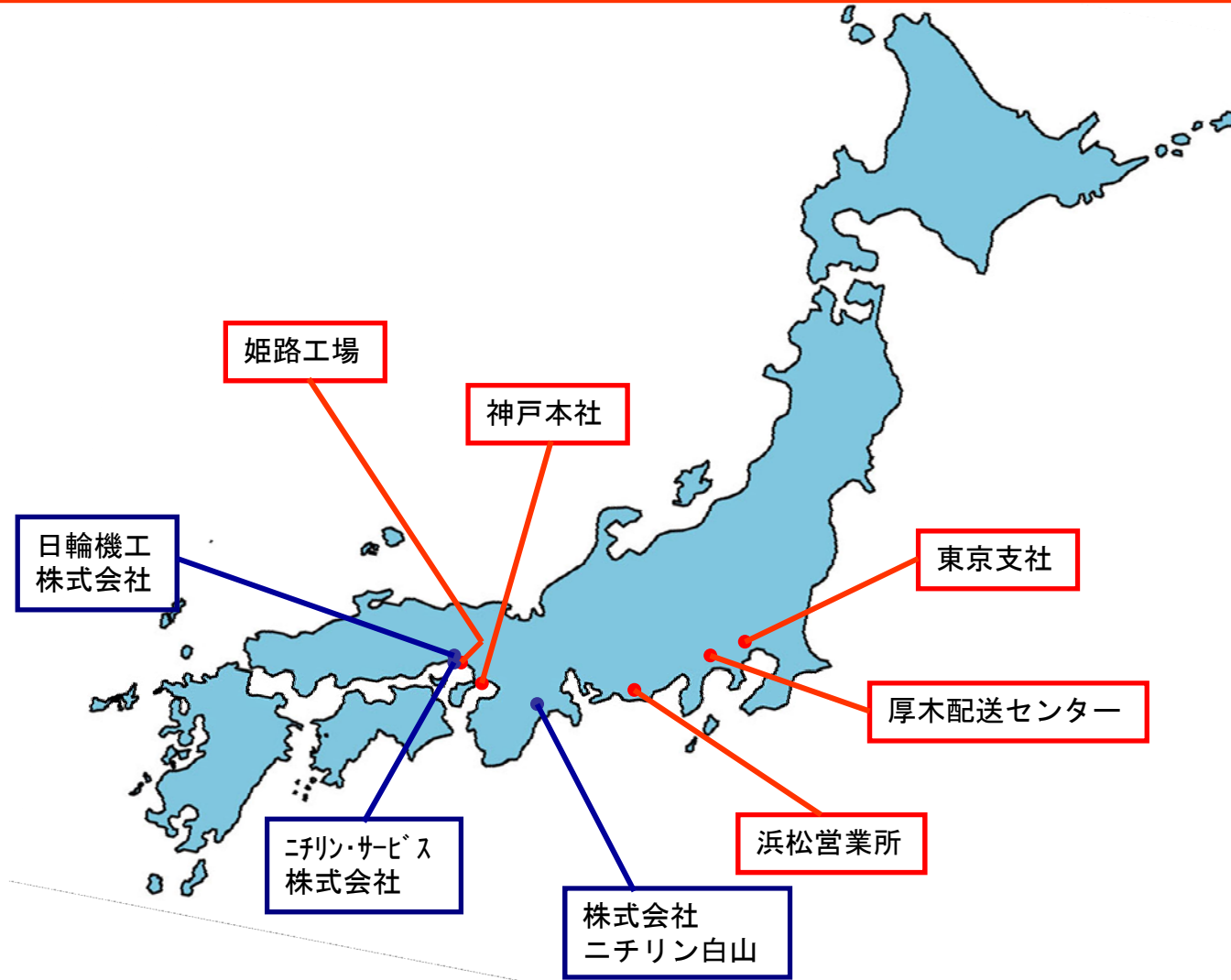
会社概要

社名	株式会社ニチリン
創立	1914年5月(日本輪業合資会社)
本社所在地	神戸市中央区江戸町98番地1
事業所	本社、姫路工場、東京支社、浜松営業所、厚木配送センター
事業内容	自動車用ゴムホース、住宅関連ホース
上場市場	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	5184
単元株式数	100株
ホームページ	http://www.nichirin.co.jp/

海外子会社

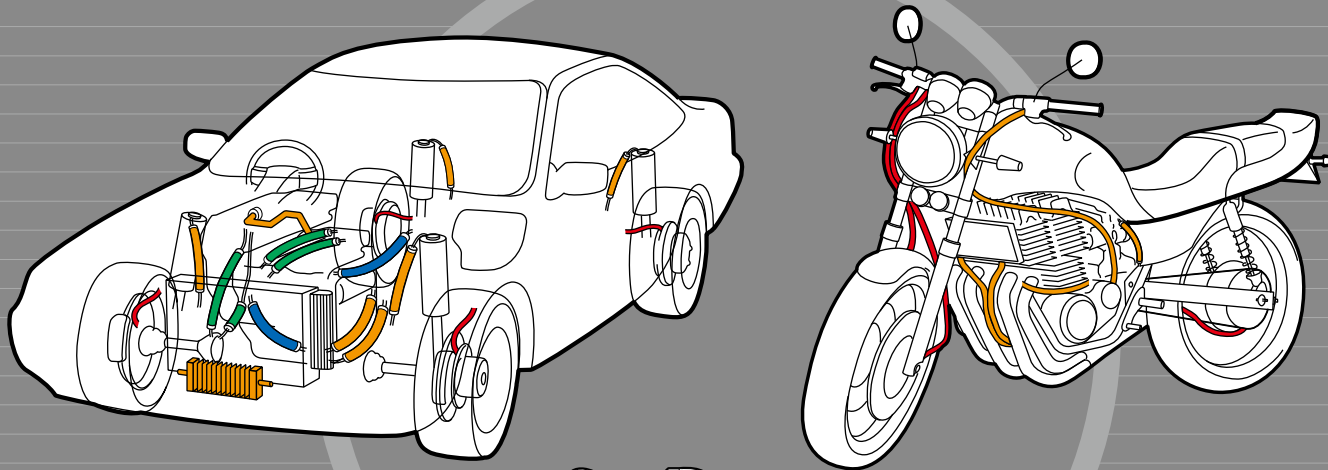


当社拠点と国内子会社

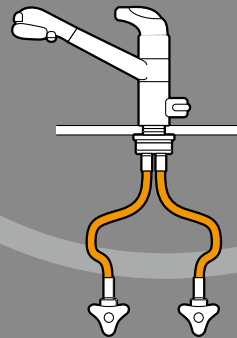


当 社 製 品

自動車用ホース
Automotive hoses



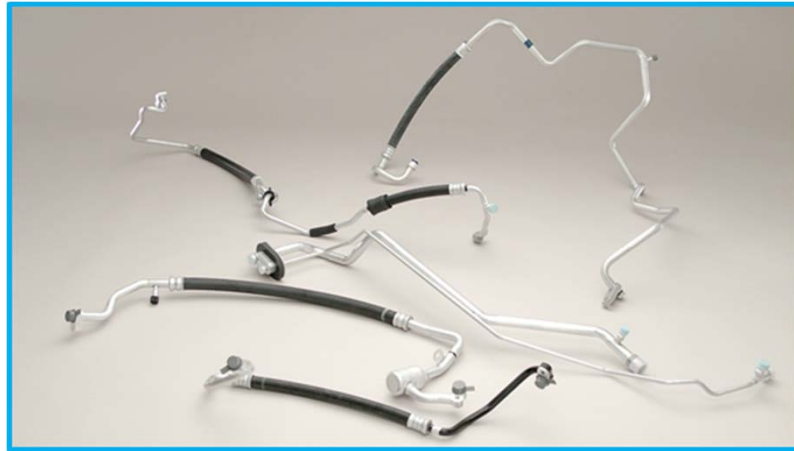
住宅関連ホース
Housing-related hoses



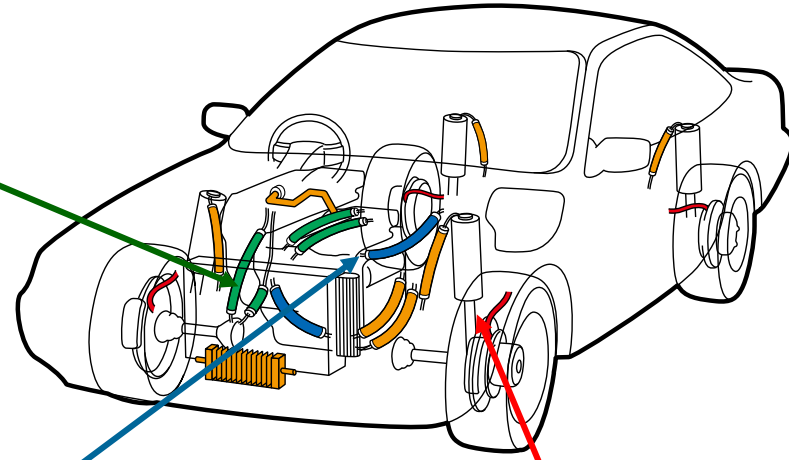
自動車用ホース（4輪）



パワーステアリングホース

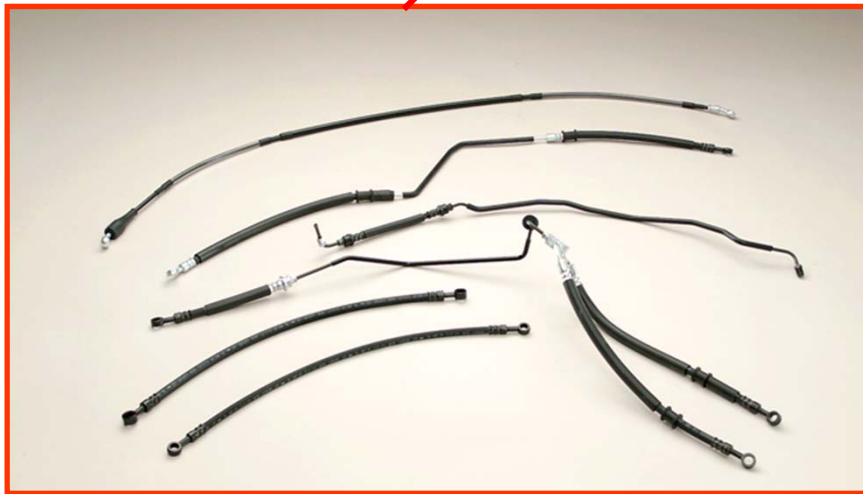
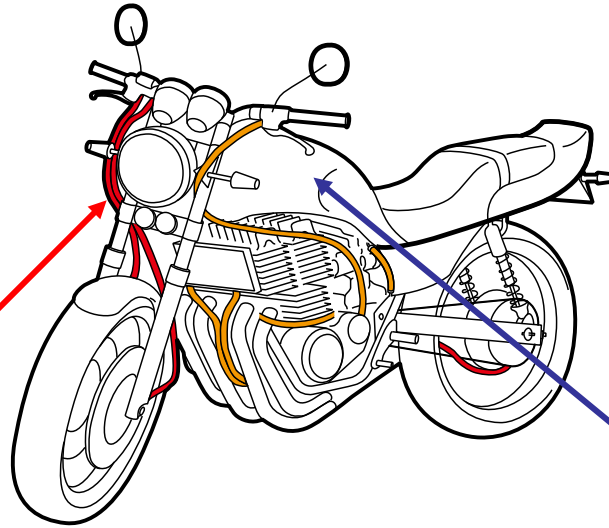


カーエアコンホース



ブレーキホース

自動車用ホース（2輪）



ブレーキホース

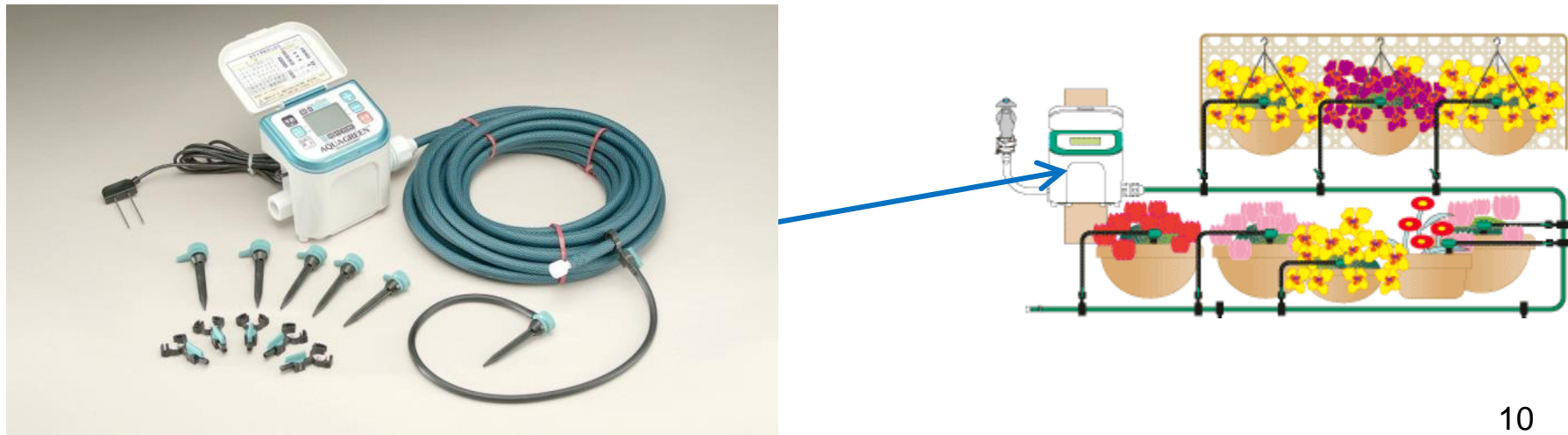


フューエルホース

住宅関連ホース



混合水栓用ホース



散水用ホース（アクアグリーン）

主要顧客

自動車用ホース

【4輪】

本田技研工業(株) フォルクスワーゲン
日産自動車(株) 三菱自動車(株)
日産車体(株)
トキワエンジニアリング(株)
スズキ(株)
(株)SUBARU

【2輪】

本田技研工業株式会社
ヤマハ発動機株式会社
スズキ株式会社
川崎重工業株式会社

住宅関連ホース

TOTOグループ パナソニックエコソリューションズ[®] 住宅設備(株)
(株)三栄水栓製作所 (株)タカギ

Ⅱ. 2017年度決算

(平成29年12月期)

2017年業績概要

【経営成績等の概況】

国内自動車販売の回復（5.3%増）

海外需要に伴う完成車輸出が堅調（1.5%増）

米国ではやや陰りがでたものの海外自動車生産が好調（4.1%増）

(百万円)	2016年度 実績	2017年度		前年比
		計画(8月公表)	実績	
売上高	50,992	56,700	59,375	16.4%
営業利益 (率)	6,618 (12.9%)	8,300 (14.6%)	8,516 (14.3%)	28.7%
経常利益 (率)	6,343 (12.4%)	8,300 (14.6%)	8,629 (14.5%)	36.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	3,644 (7.1%)	5,200 (9.1%)	4,883 (8.2%)	34.0%

○為替影響（前年比）

売上高：11.8億円

営業利益：3.6億円

USD/円

108.79円

112.17円

ユーロ

117.86円

126.70円

元

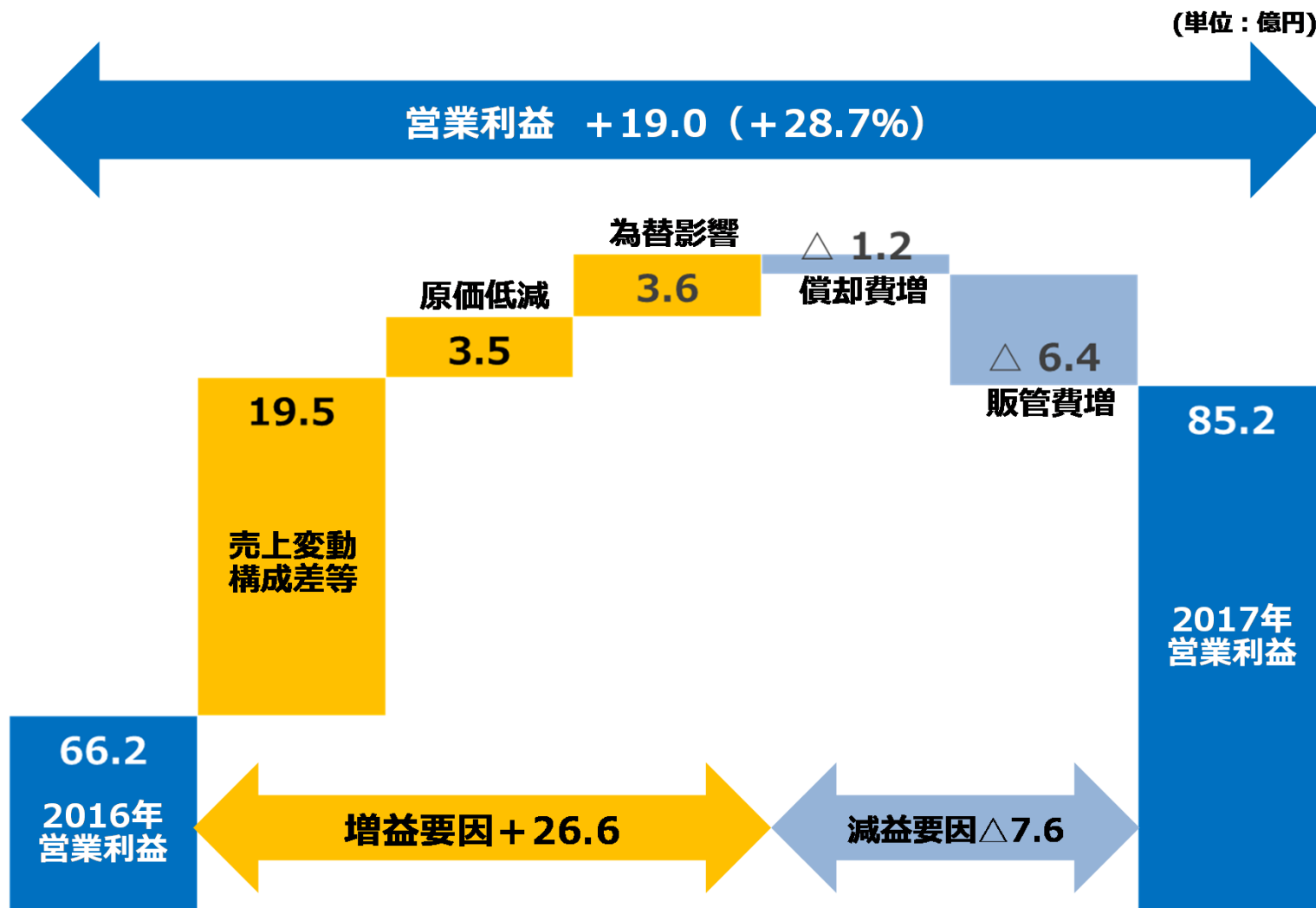
16.36円

16.62円

地域別セグメント

		2016年度 実績	2017年度	
			実績	前年比
全社	売上高	50,992	59,375	16.4%
	営業利益	6,618	8,516	28.7%
日本	売上高	17,577	18,998	8.1%
	営業利益	1,562	2,323	48.7%
北米	売上高	13,072	12,462	△4.7%
	営業利益	927	658	△29.0%
中国	売上高	6,531	9,080	39.0%
	営業利益	1,109	1,887	70.2%
アジア	売上高	10,767	13,052	21.2%
	営業利益	2,806	3,752	33.7%
欧州	売上高	3,043	5,781	90.0%
	営業利益	117	121	3.4%

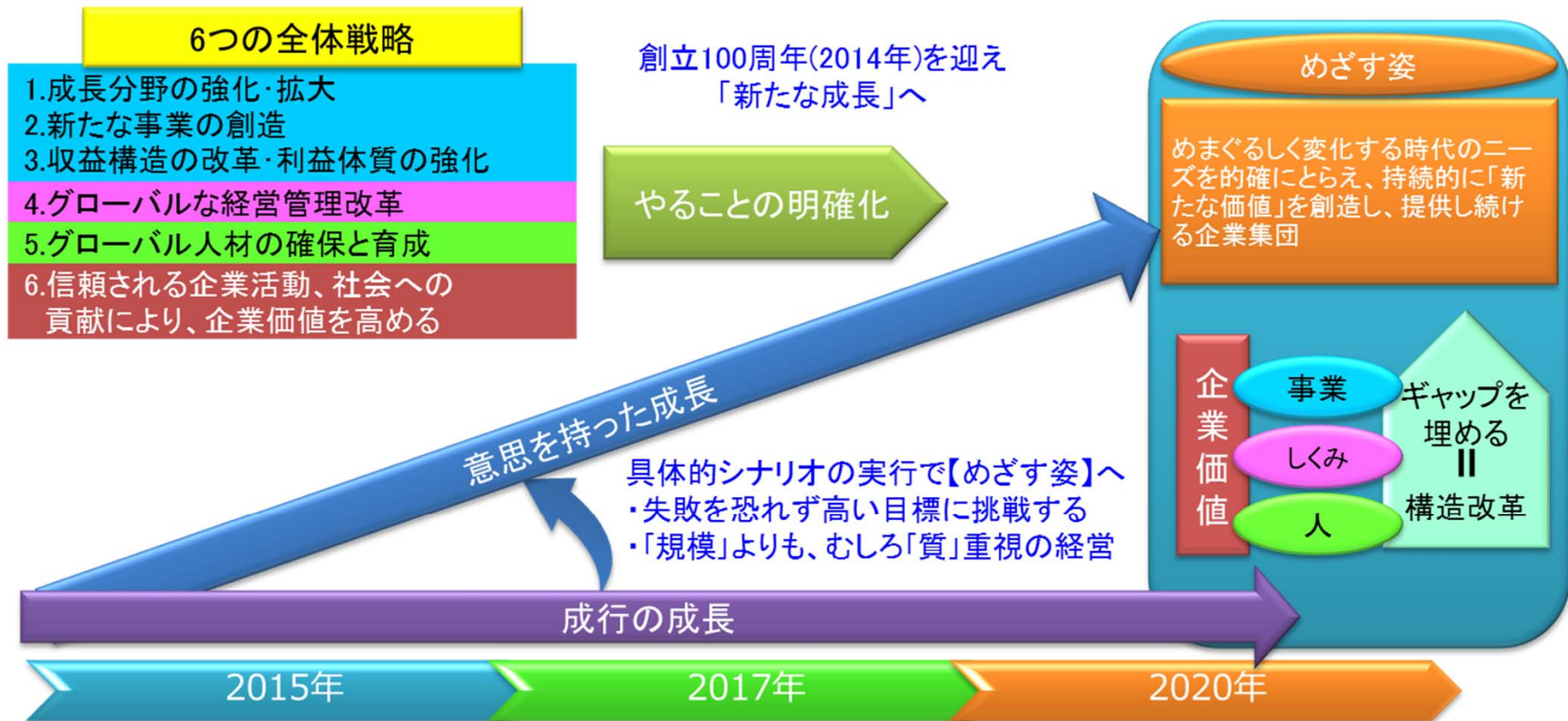
營業利益增減分析（前年比較）



Ⅲ. 中期経営計画の骨子

2015～2020年 中期経営計画

NICHIRIN Growth Strategy 2020 (NGS2020)



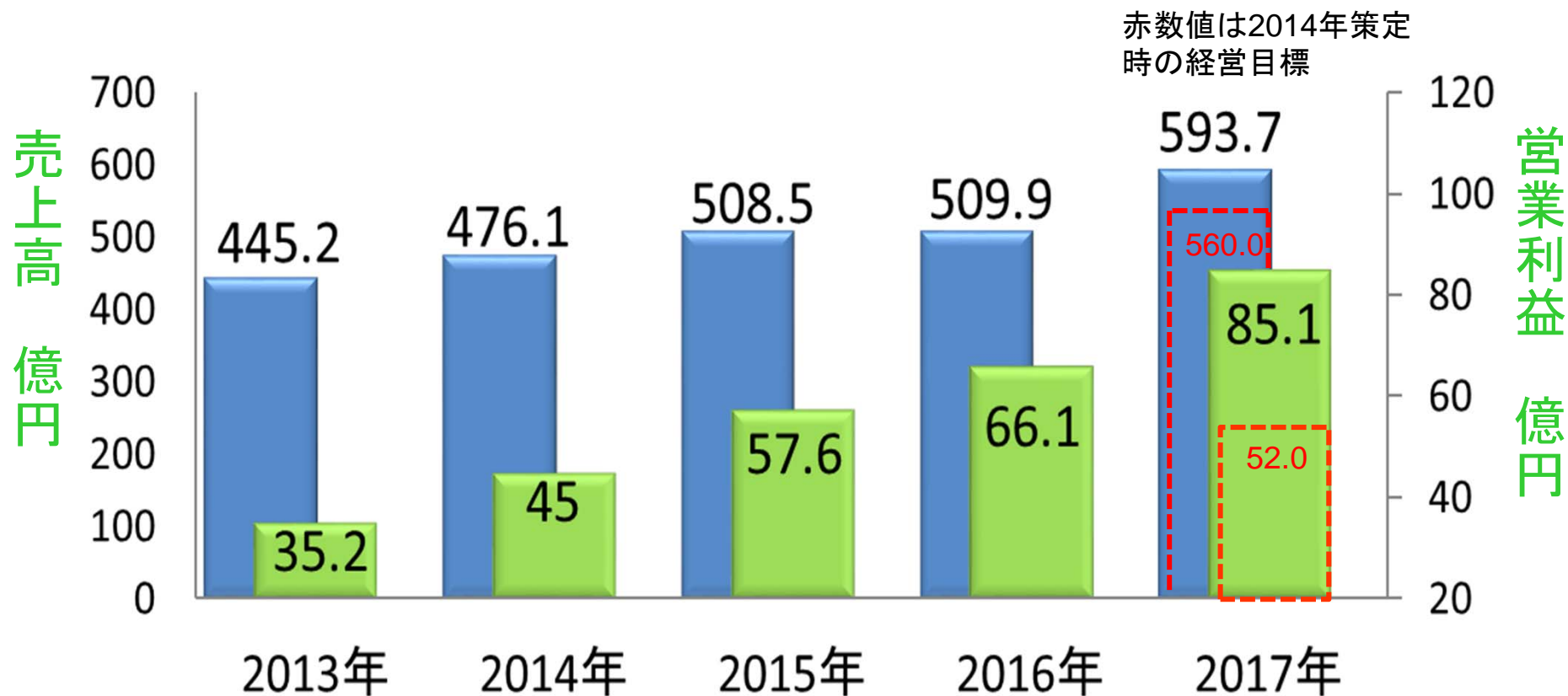
フェーズ I (2015年~2017年) 経営目標

百万円	2014年実績	2017年連結経営目標 (策定時)
売上高	47,618	56,000
営業利益	4,505	5,200
経常利益	5,014	5,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,609	—

策定時の換算レート: USD=110円

IV. 中期経営計画フェーズ I 活動成果

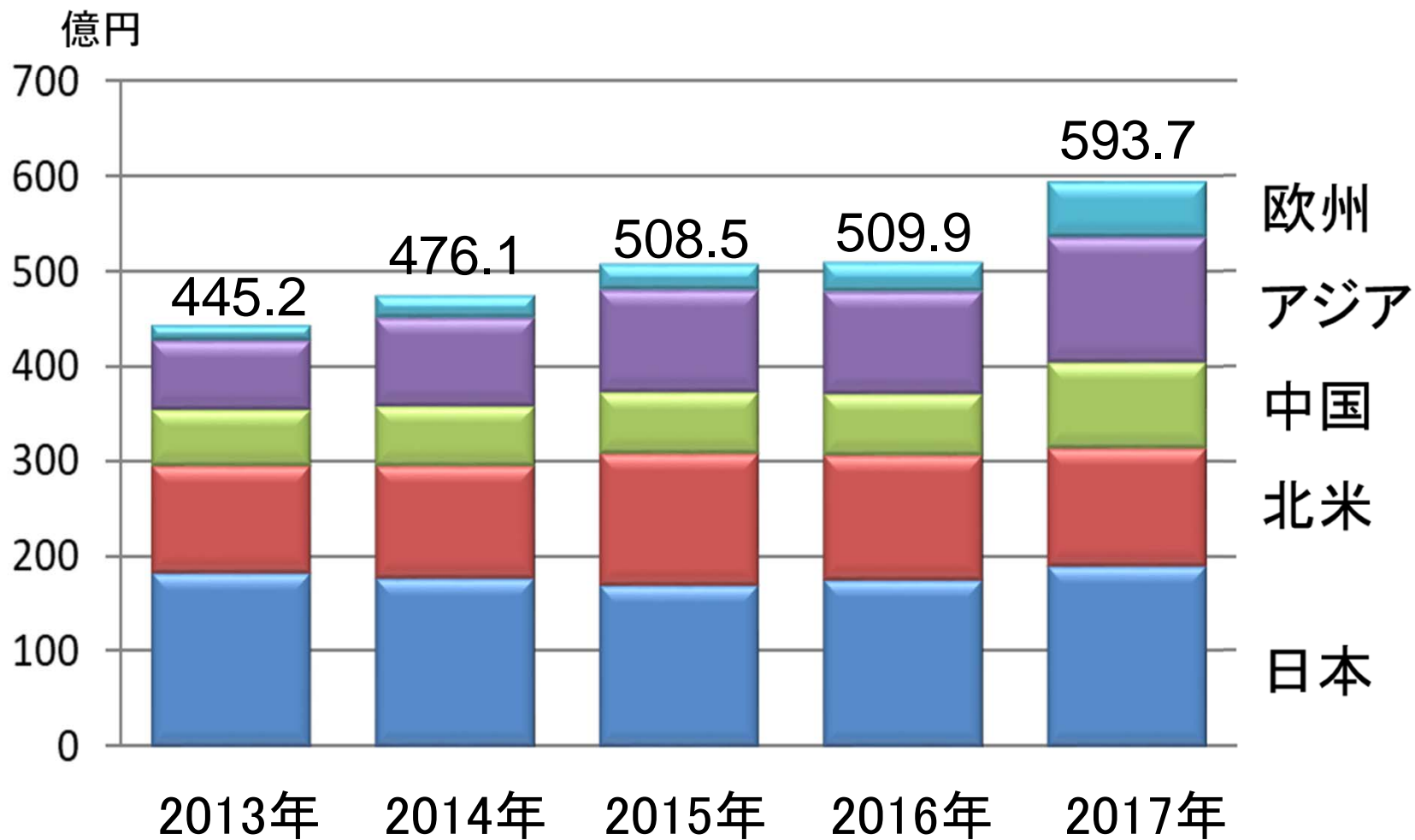
連結業績推移



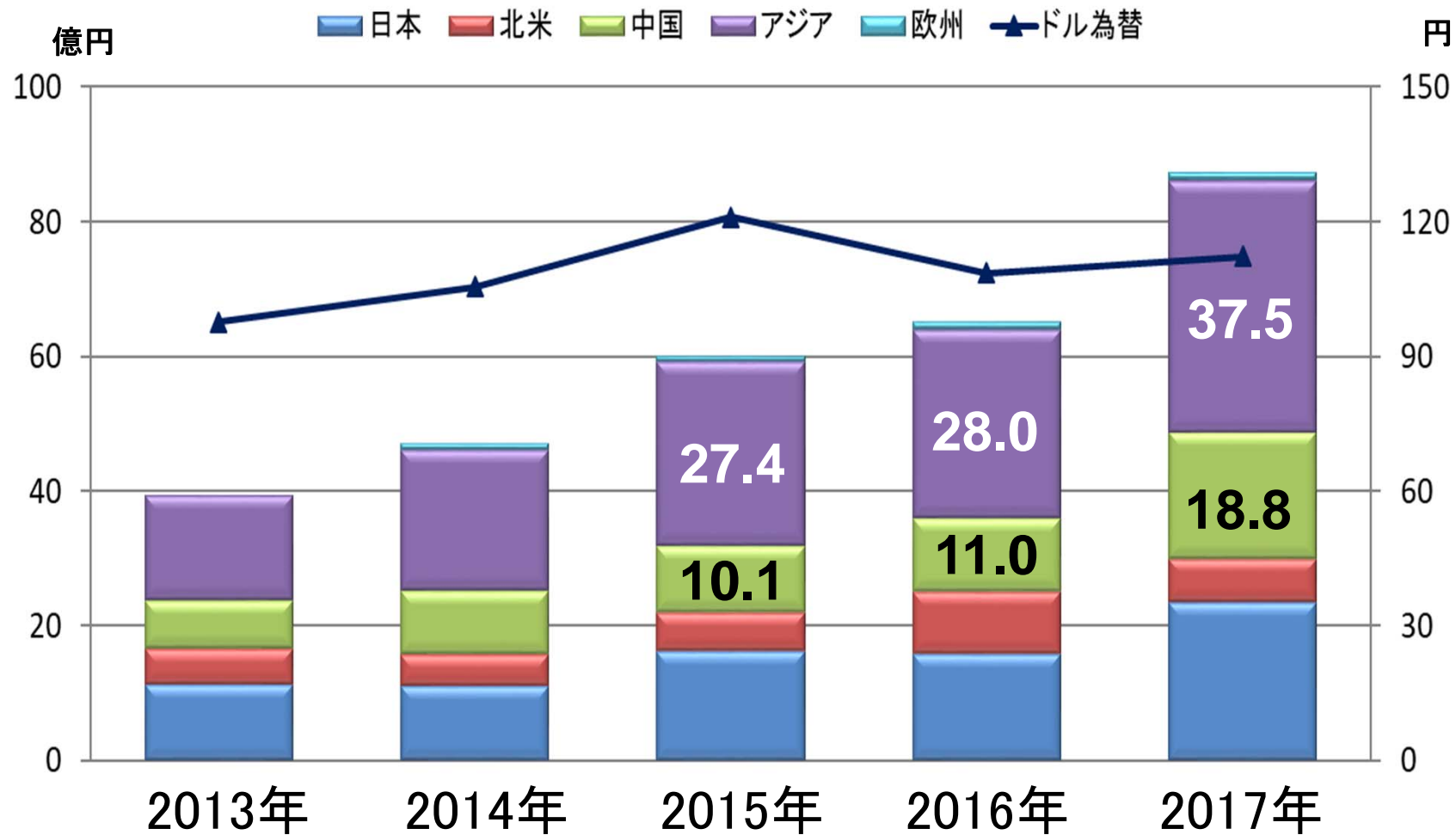
NICHIRIN Progressive Globalization Plan
中期経営計画 (2010年～2014年)

NICHIRIN Growth Strategy 2020
中期経営計画
(フェーズ I 2015年～2017年、フェーズ II 2018年～2020年)

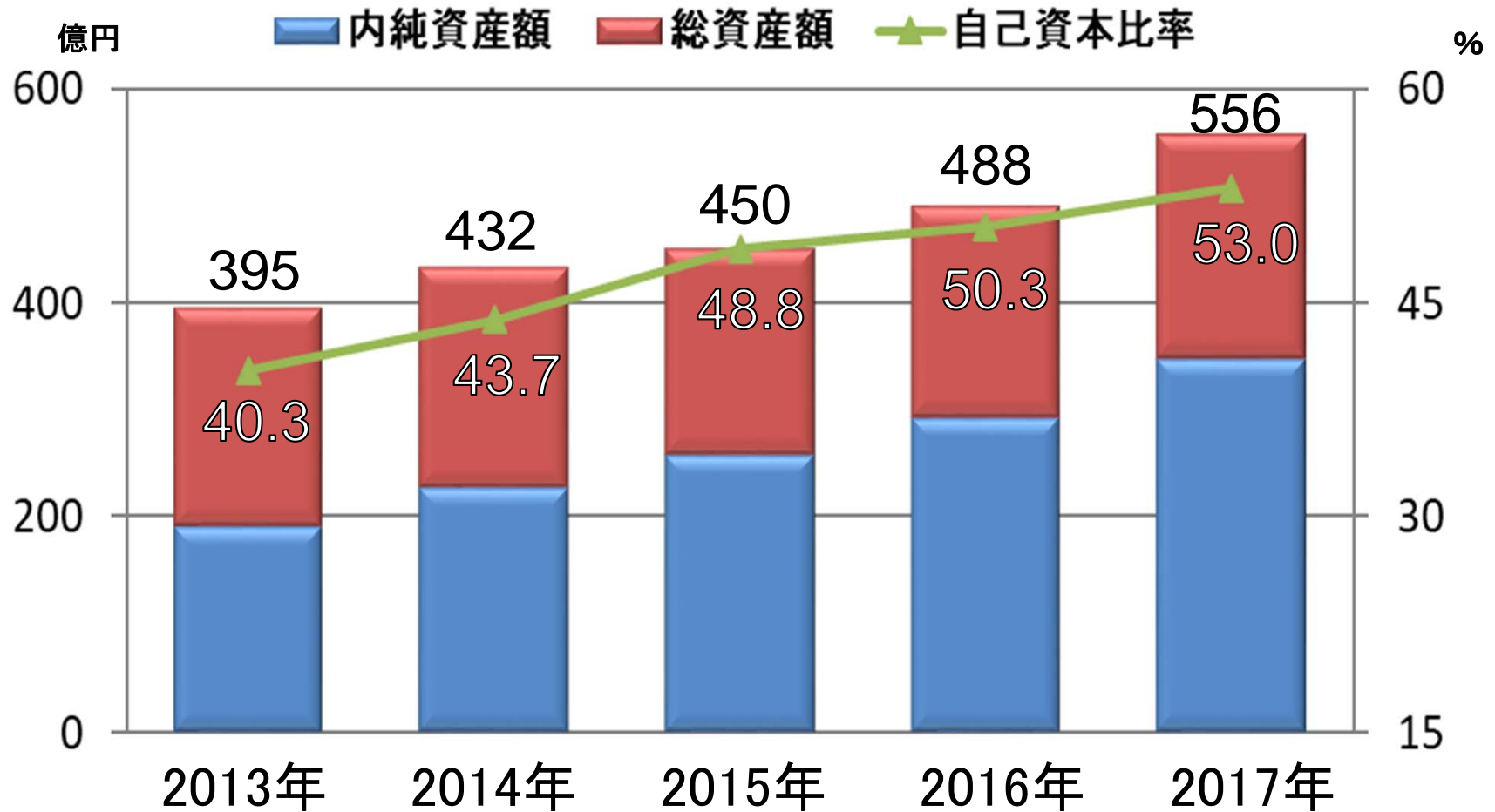
セグメント別売上高（連結）



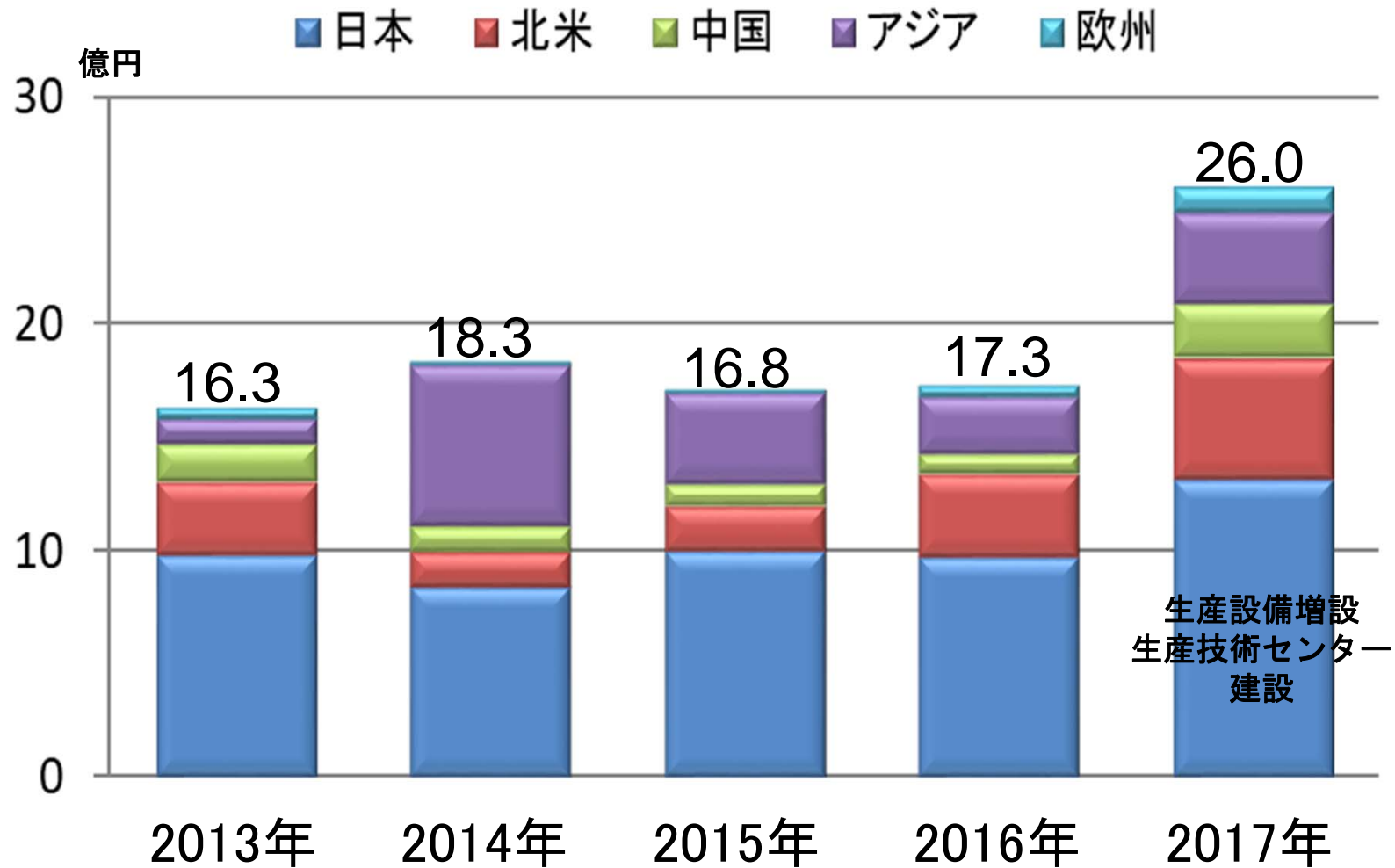
セグメント別営業利益と為替の推移



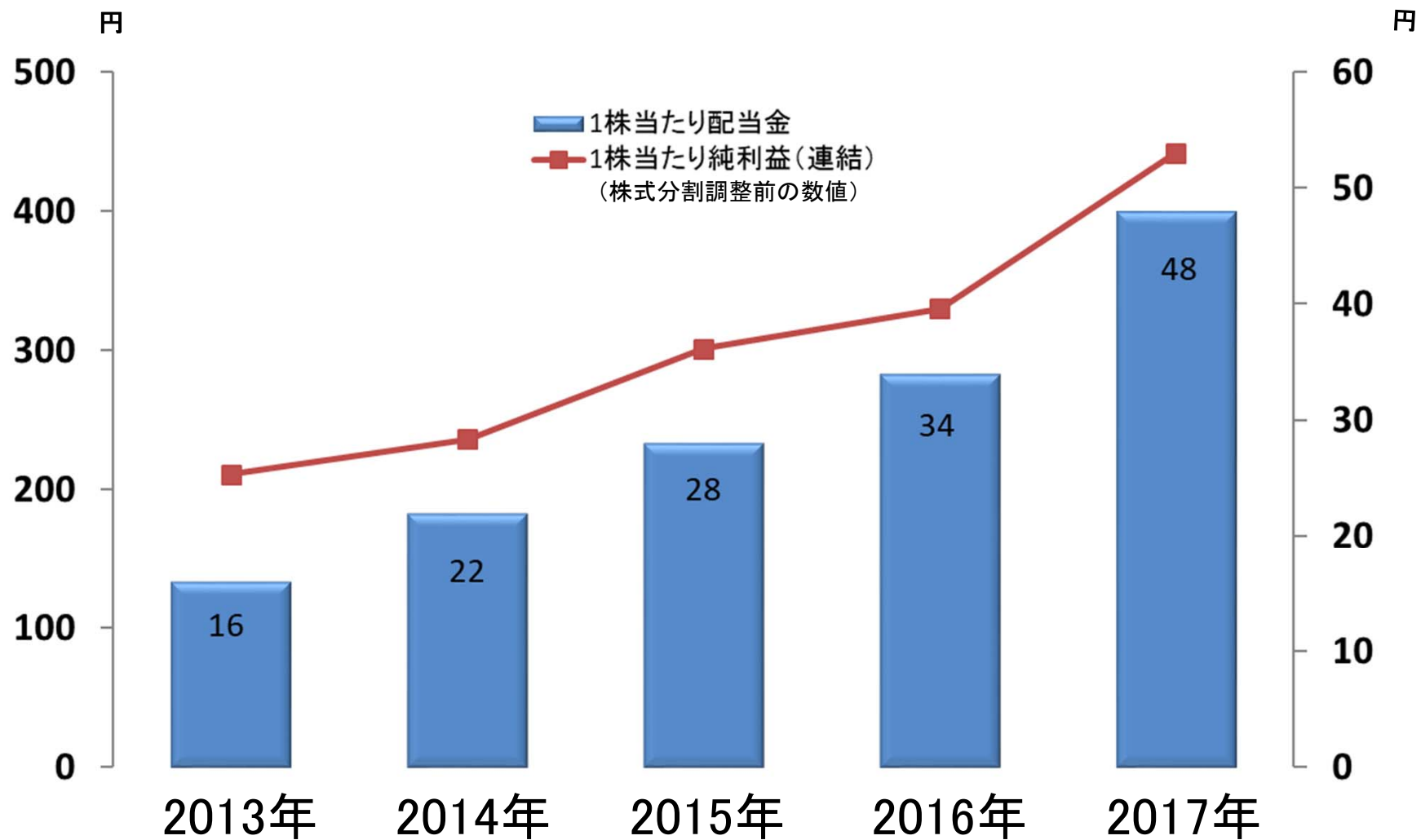
自己資本の推移



連結設備投資額の推移



配当の状況



主な新規取引先

VW「トランスポルター」：パワーステアリングホース

GM「シボレー・クルーズ」用：4輪ブレーキホース

ピアッツジョ：2輪ブレーキホース

ジャガーランドローバー：4輪ブレーキホース

スバル：4輪ブレーキホース

新製品

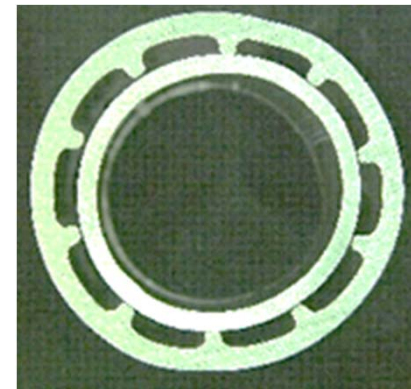
2輪用フューエルホース、樹脂コネクタ



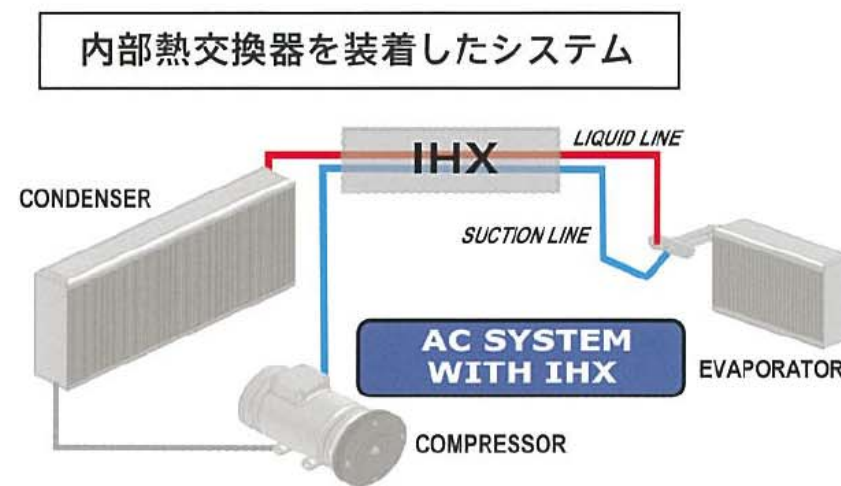
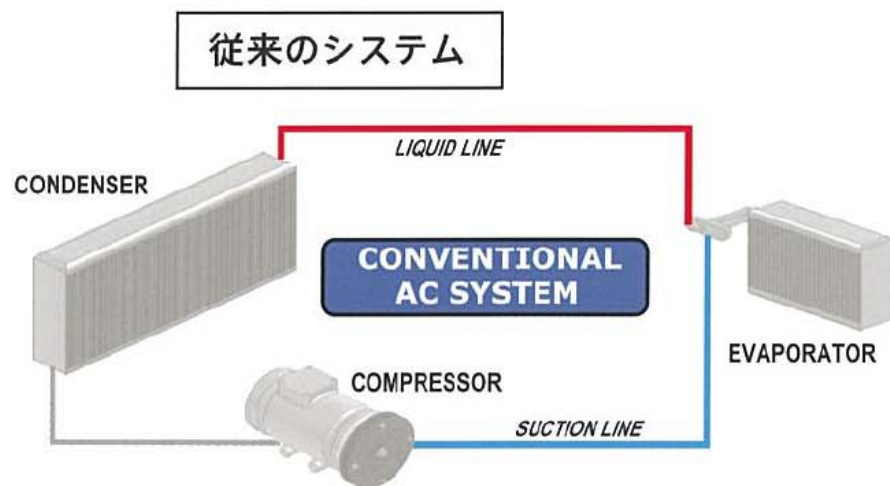
I H X (Internal Heat Exchanger)



パイプ断面



[内部熱交換器の仕組み]



V. 中期経営計画フェーズⅡ

経営目標

当社を取り巻く環境（フェーズⅡ）

- 製品群の転換（電動化によるパワーステアリング用ホースの減少）

売上高減少の影響を最小限に（減少分の補完）

- 大型プロジェクトの遂行
 - ・中国新会社の設立による工場建設と新会社への事業移転
 - ・ベトナム・インドネシア子会社の工場拡張
- 自動車のE V化に向けた対応

売上高減少分の補完

減少分を補完

・ I H X 15億円

(2022年には30億円へ)

・ 既存商品の拡販 45億円

(設備売上含む)

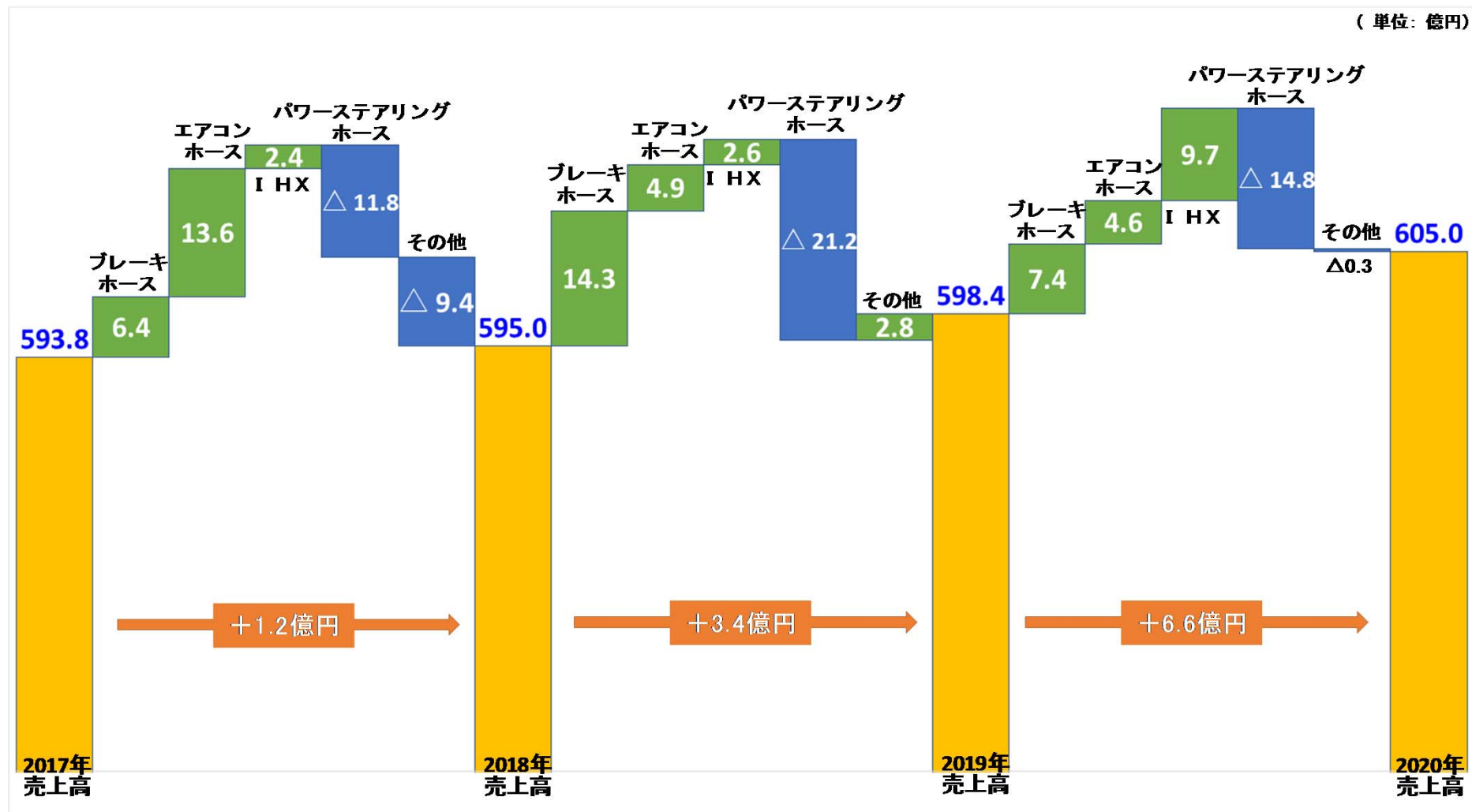
製品群の転換

(電動化によるパワーアリングホースの減少)

48億円

[北米30億円、国内15億円、中国3億円]

売上高増減予想



大型プロジェクトと利益への影響要因

	2018年		2019年		2020年	
大型 プロジェクト	NID	5月竣工	NVC	1月竣工		
	蘇州日輪	6月着工	蘇州日輪	3月竣工	蘇州日輪	6月全面移転
				7月生産開始		

- 大型プロジェクト遂行による費用負担（支援体制、プロジェクト管理）
- 既存工場（NVC・SNA）の建物等の除却
- SNAでの経済補償金
- 大型設備投資による償却負担

スムーズな立上げで費用の最小化

グループ全体最適による効率化（北米、欧州事業の再構築）

生産性の向上と間接部門の徹底した効率化

経営目標

百万円	2017年実績	2020年目標	
		従前の目標値 (連結経営指針)	新たな目標値 (連結経営目標)
売上高	59,375	58,000	60,500以上
営業利益 (率)	8,516 (14.3%)	利益率8%以上	8,700以上 (14.3%以上)
経常利益 (率)	8,629 (14.5%)	—	8,700以上 (14.3%以上)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	4,883 (8.2%)	利益率5%以上	5,400以上 (8.9%以上)

連結経営指針 中期経営計画策定時の「2020年連結経営指針」を指す。
 連結経営目標 新たに設定した「2020年連結経営目標」を指す。
 なお、換算レート：USD=110円としております。

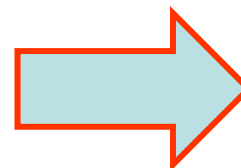
2018年業績予想

国内自動車販売は引き続き堅調

中国市場では新車市場の成長は鈍化、日系のSUVは好調

北米はセダン系は減少するも大型のSUVは好調

アセアンはタイ市場の回復や二輪需要により堅調



いずれの市場も大きな変動はなく、堅調に推移するものと予想

※上海日輪汽車配件有限公司の中国新会社（蘇州日輪汽車部件有限公司）への事業移転に伴い、経済補償金の発生が見込まれますが、その時期、金額については、現在のところ流動的であることから、2018年の連結業績予想には織り込んでおりません。

(百万円)	2017年度 実績	2018年度 予想	前年比
売上高	59,375	59,500	0.2%
営業利益 (率)	8,561 (14.3%)	8,500 (14.3%)	△0.1%
経常利益 (率)	8,629 (14.5%)	8,500 (14.3%)	△1.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)	4,883 (8.2%)	5,000 (8.4%)	2.3%

USD/円

112.17円

110.00円

ユーロ

126.70円

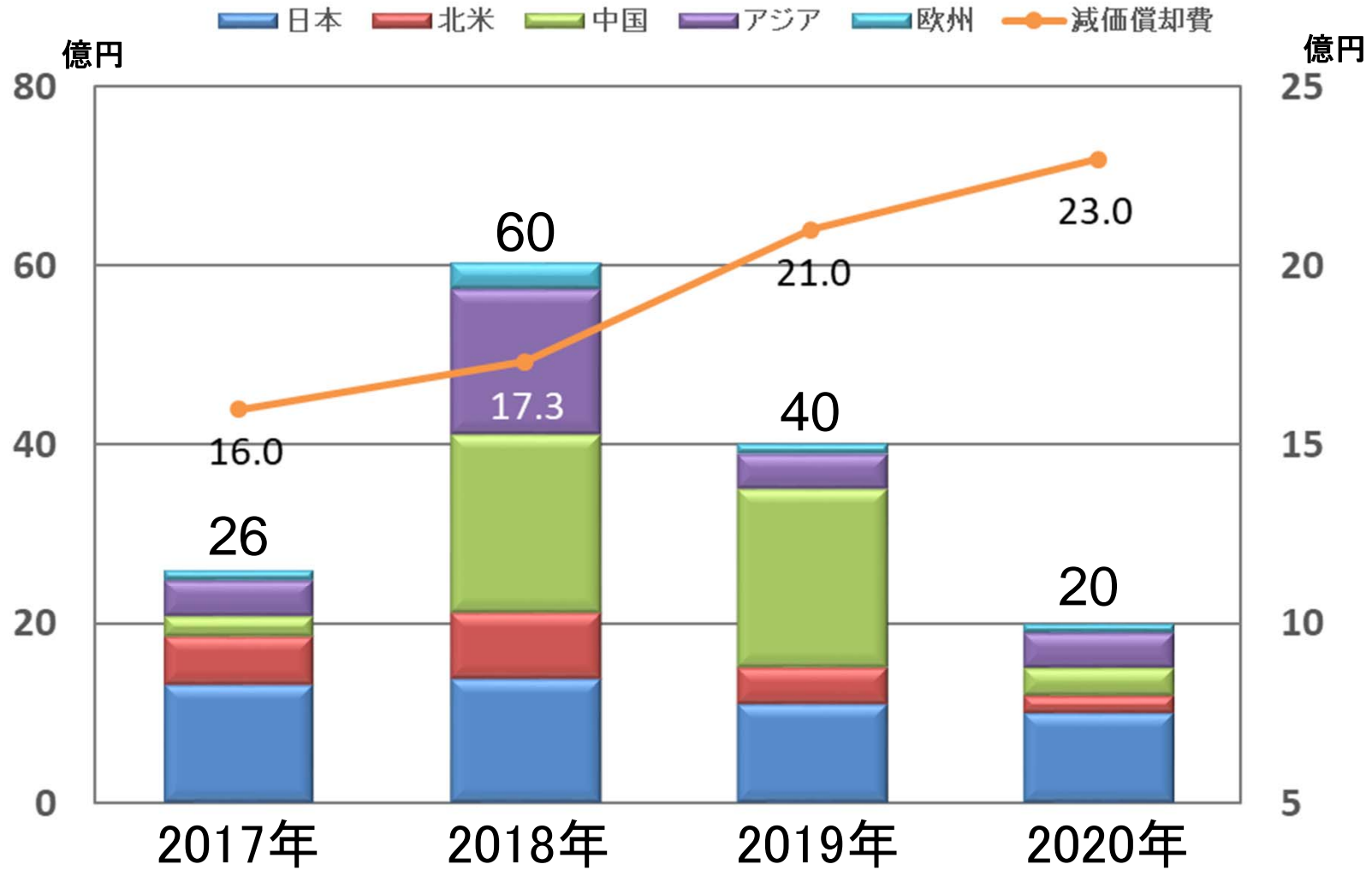
130.00円

元

16.62円

16.00円

設備投資、減価償却費



VI. 中期経営計画フェーズⅡ

重点施策

6つの全体戦略

Structure【事業】の改革

強化策

全体戦略

1.成長分野の強化・拡大

2.新たな事業の創造

重点施策

- 重点拡販商品への注力
(IHX・樹脂リキッド・成型ホースなど)
- 既存・新規顧客への拡販強化
- 欧米メーカー比率のアップ
(HNBHとのシナジー)
- 市場拡大への適切な対応
- 専門チームの設置による用途開発と確実な種まき
(次世代の柱となる商品の上市)
- 環境分野等での開発案件への注力
- 産業用設備分野(要素技術のビジネス化)

成長分野の強化・拡大

単純な製品価格競争による受注拡大は目指さず、質重視の活動を行う

【新製品】

- ◆現時点でIHXは2020年モデルまで日系3社、6車種で受注が確定
⇒2022年までに30億円以上の売上を目指す
- ◆カーエアコン用曲管ホースの受注活動
⇒売上高6億円以上を目指す

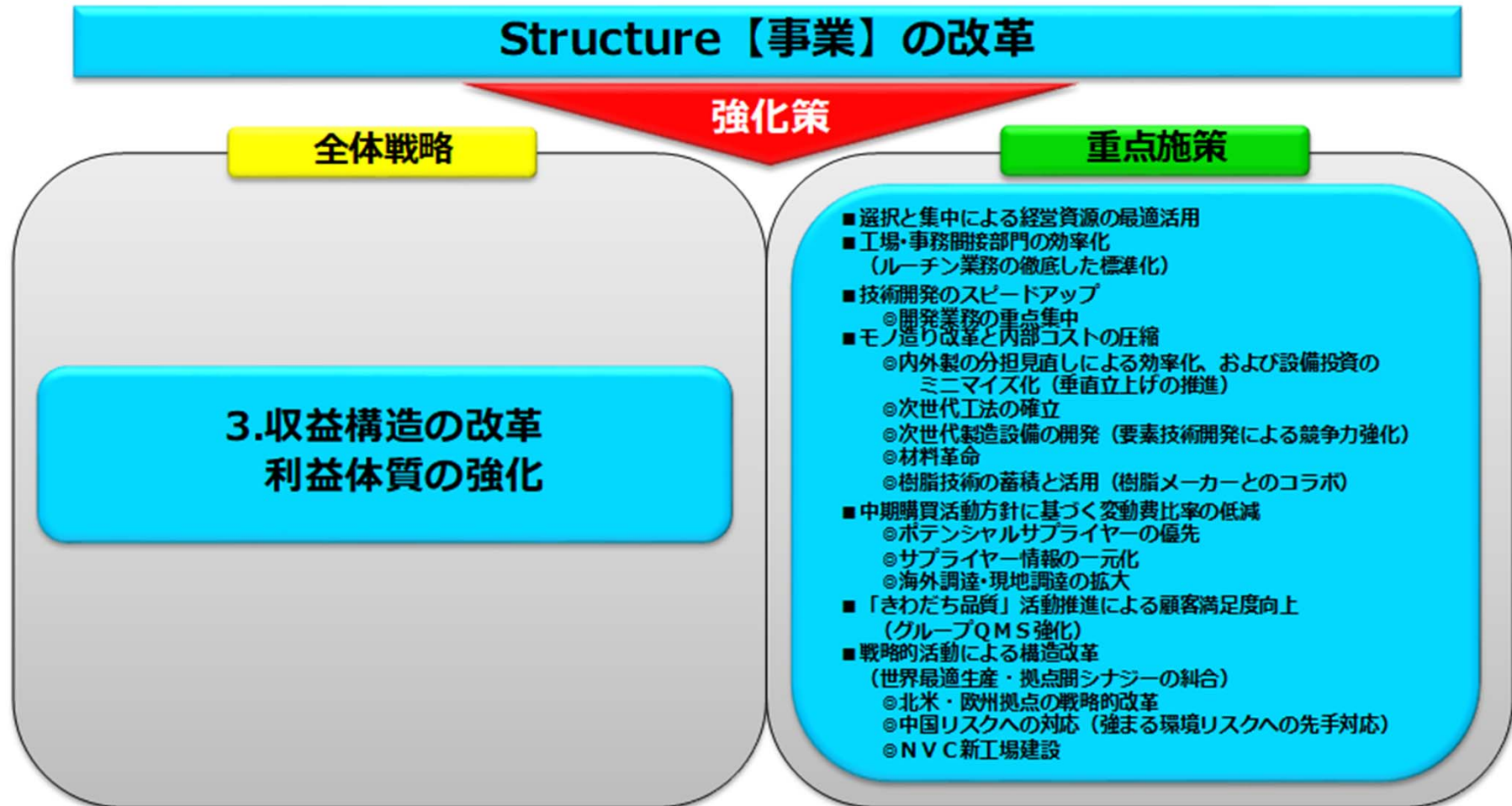
【既存製品】

- ◆海外メーカー（GM、VW、JLR、PSA、ハーレー等）への拡販
- ◆インド市場における2輪車ABS・連動ブレーキの義務化や新興市場における2輪車拡大によるブレーキホースの需要拡大を確実に受注に結びつける

新たな事業の創造

- ◆ 口金具類の樹脂化等軽量化への取組
- ◆ I H Xの更なる機能向上
(熱交換率の向上、圧損の減少等)
- ◆ 労働人口減少に伴う影響を最小限にするための施策
(ロボットと人との協働)
- ◆ 海外メーカーと連携による開発のスピードアップ

6つの全体戦略



中国新子会社設立・現工場からの設備移設

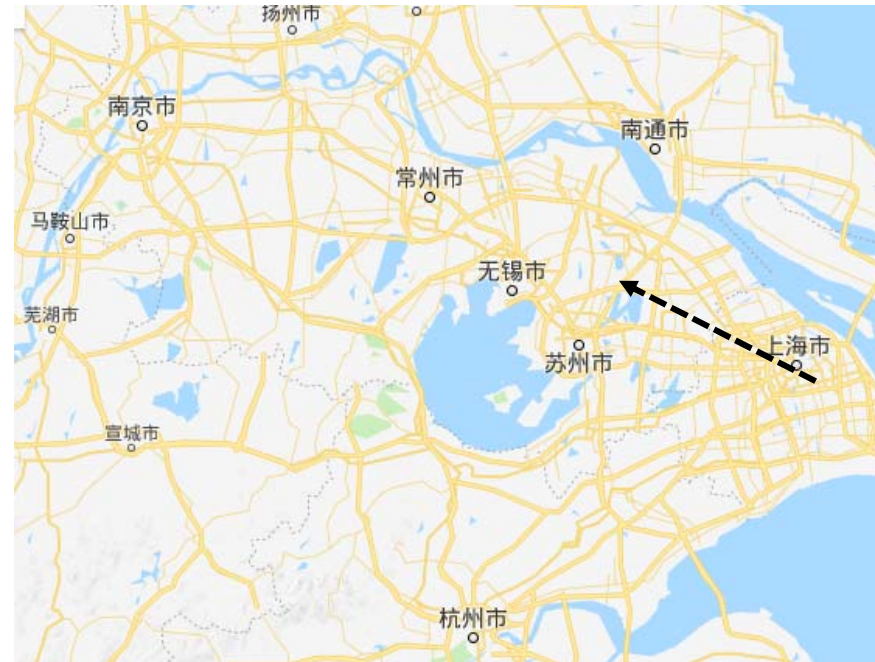
- 常熟現地法人の設立及び新工場建設

常熟開発区に新たに現地法人蘇州日輪を設立(2017年12月19日)

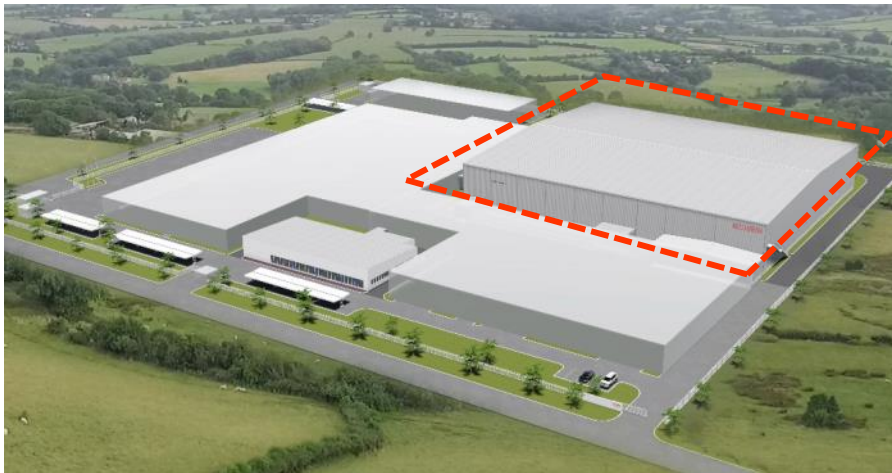
新工場土地面積38,760㎡、事務棟+製造棟15,650㎡、倉庫4,850㎡。

2018年1月 USD1400万出資 8月USD900万追加出資予定

2019年3月竣工予定 7月生産開始 2020年6月までに随時設備を移設

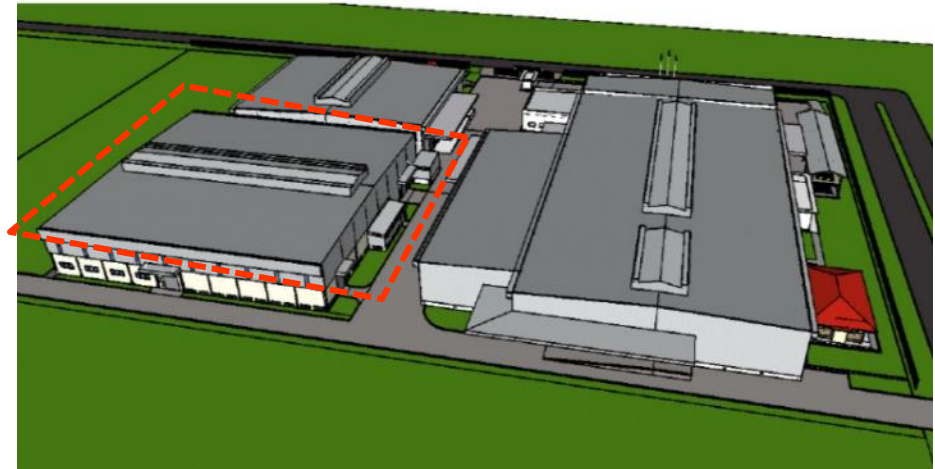


ベトナム・インドネシア子会社工場拡張



NVC

新工場床面積 7,955m²
延床面積 15,055m²
敷地面積40,000m²
2019年1月竣工
投資額 10億円（設備含む）



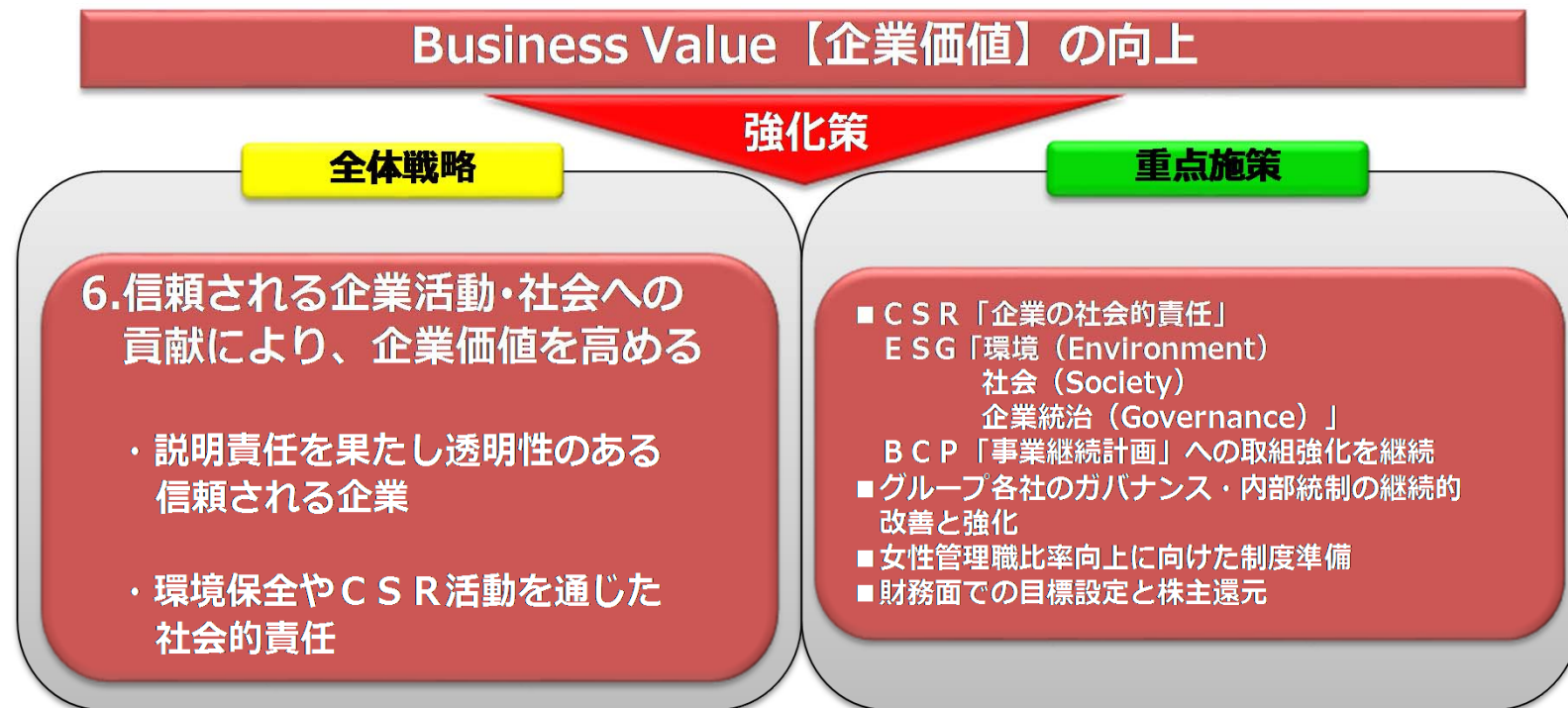
NID

新工場床面積 3,000m²
敷地面積25,000m²
2018年5月竣工
投資額 2億円（設備含む）

6つの全体戦略



6つの全体戦略



株主還元

現預金等については、リーマンショック、東日本大震災の経験、リコール等のリスクを勘案し、最低でも連結売上高の2～3カ月程度（借入金を除く）は必要と考えております。

本経営計画期間中に増加する現預金等については、M&A資金、新製品の研究開発投資、ロボット等の製造設備投資、アジアにおける工場増改築等に充当する予定であります。

配当につきましては、基本方針のとおり安定配当を基調としますが、今後、概ね計画に沿った業績が継続すれば、中長期的には連結配当性向20%程度を目指し、徐々に増配することを検討してまいります。

おことわり

本資料をご参照になるにあたっては以下の点につきご留意ください。

本資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社独自の判断に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。

従いまして、記載された将来の予想数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。